

28. 3. 23

平成 28 年度

事業計画書

社会福祉法人^{恩賜財団}東京都同胞援護会

恩賜 社会福祉法人財団東京都同胞援護会憲章（同援憲章）

同援憲章

同胞援護会は、敗戦後まもなく戦時下の軍人援護会と戦災援護会の合併を機に全国組織として、日本の社会事業発展を目指して誕生しました。

やがて全国支部組織から独立し、東京都同胞援護会として、戦後の復興事業から新しい社会福祉を目標として生まれ変わりました。

発足において同胞援護会は、「同胞愛」、「四海皆兄弟」、「助け合い」の言葉を基本理念に掲げました。戦後の荒廃した社会にあつて、何よりも国民の復興に向けた精神のよりどころを高く標榜したものでした。

同胞援護会は、戦後の混乱期から幾多の時代の変遷にあつても、変わることなく社会福祉の道を、多くの人々とともに歩んできました。

この精神は現在もなお同胞援護会の理念として、強く受け継がれているものであります。

いずれの時代にあつても福祉は、普遍的なものであり私たちは、常に地域の皆様とともに、基本的人権の思想を何よりも尊重し、真の福祉を目指して迷うことなく進んでまいります。

東京都同胞援護会は、これからもこの崇高な理念を基本にして、福祉社会の恵沢を、全ての人々とわかちあうために努めていきます。

基本理念

- 1 個人の尊厳をまもり、利用者の意向を十分に尊重いたします。
- 2 利用者の心身の健全と、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。
- 3 地域の皆さんと一緒に福祉の街づくりに努めます。

基本方針

- 1 利用者の立場に立ってサービスを考えます。
- 2 利用者のため質の高いサービスを提供します。
- 3 笑顔と挨拶と礼儀を大切にします。
- 4 透明で開かれた施設を目指します。
- 5 健全な施設経営を目指します。

目 次

I	平成 28 年度事業計画	1
II	事業経営	4
1	保育支援系施設の経営	4
2	高齢者支援系施設の経営	14
3	障害者支援系施設の経営	34
4	児童・女性支援系施設の経営	43
5	医療事業施設の経営	51
6	収益事業の経営	53
7	社会貢献事業	54
8	人材育成事業	54
III	職員福利厚生制度並びに職員研修制度	55
IV	理事会及び評議員会	60
V	施設長会議及び各種委員会	61
VI	事務局主要業務	62

I 平成28年度 事業計画

我が国の経済は、税収の伸びや雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復していますが、個人消費の伸び悩みや海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクもあり、楽観視できない状況となっています。

そうした中、都の税収は4年連続で増収となる見込みで、28年度の福祉・保健分野の歳出予算案も昨年比で598億円増額されました。

当法人としては、今年度の事業実施にあたり、引き続き、利用者の安心・安全を確保し、利用者の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、安定した財政基盤の確立、サービスの担い手である人材の確保と育成を重点目標にいたします。

まず、利用者の安全で快適な利用環境を提供するため、老朽化した施設・設備の改修や整備を行うとともに、防災・減災に関する備えや、職員教育に引き続き取り組んでまいります。

次に、利用者満足度の高いサービスを提供するために、専門的技術ならびに接遇マナーの向上など職員の資質向上のため、職場内外の研修を充実させるとともに、職員の海外派遣研修も実施いたします。

次に、安定した財政基盤の確立を図るため、資金管理や人員管理、物品調達などを一元的に行い、コスト削減に向けて努力いたします。

また、人材確保については、今年度も新規学卒予定者への求人活動を積極的に展開するとともに、人材の育成に努めます。

さらに、今年度は、地域の高齢者のニーズに対応するため、（仮称）昭和郷高齢者複合施設を建設するとともに、法人の自主事業として、地域ニーズに応えるための社会貢献活動に取り組みます。

最後に昭島病院についてですが、安定的な経営に努めるとともに、最新の医療機器の導入・更新を計画的に行い、引き続き医療の質向上を図ります。さらに救急医療の積極的受け入れ、地域の関係医療機関等との連携を図りつつ地域の中核病院として運営するとともに、近隣の事業所と共に地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。

本年度も役職員一体となり、利用者の皆様や地域の方々から喜ばれる法人運営に向け努力してまいります。

平成28年度運営施設(事業)一覧表

グループ名	種別	施設名	定員 (世帯)	職員数				
				正規職員	契約	非常勤	合計	
保育支援系施設	保育所	むさしの保育園	169	37	0	25	62	
		本園	140					
		方南分園	29					
		昭和郷保育園	100	23	1	19	43	
		大山保育園	130	28	3	13	44	
		昭和郷第二保育園	190	31	3	26	60	
		みなと保育園	70	18	1	6	25	
		同援みどり保育園	125	28	5	17	50	
		つつじが丘保育園	110	27	1	17	45	
		同援さくら保育園	108	24	1	24	49	
	同援はいじま保育園	50	9	1	2	12		
保育施設計			1,052	225	16	149	390	
高齢者支援系施設	養護老人ホーム	万世敬老園	200	19	4	24	47	
	軽費老人ホーム	サンホーム	50	10	6	6	22	
		ライトホーム	50	1	2	1	4	
	救護施設	昭島荘	100	39	3	8	50	
	小計			400	69	15	39	123
	特別養護老人ホーム	フジホーム	100	36	14	19	69	
		ニューフジホーム	100	45	7	24	76	
		原町ホーム	50	20	3	16	39	
		ゆたか苑	50	26	2	12	40	
		ひかり苑	50	23	12	9	44	
	小計(介護施設)			350	150	38	80	268
	短期入所生活介護事業 ※専用数(空所利用数)	フジホーム	(6)	4	—	—	—	—
		ニューフジホーム	(6)	4	—	—	—	—
		原町ホーム	(4)	2	—	—	—	—
		ゆたか苑	(4)	4	—	—	—	—
		ひかり苑	(5)	4	—	—	—	—
	認知症対応型老人共同 生活介護事業(グループホーム)	かえで	9	2	3	3	8	
		原町グループホーム	18	4	3	16	23	
	老人デイ サービスセンター	フジ・デイサービスセンター	25	3	0	10	13	
		フジ・デイホーム	10	1	0	6	7	
原町デイサービスセンター		12	1	1	5	7		
東大和市ふれあい デイセンターひかり苑		12	1	4	6	11		
地域包括支援センター	新宿区榎町高齢者総合相談センター	—	10	0	2	12		
	昭島市中部地域包括支援センターあいぼっく	—	3	0	3	6		
居宅介護支援事業所	フジホーム	—	1	0	1	2		
	原町ホーム	—	2	0	0	2		
	ゆたか苑	—	2	1	0	3		
	ひかり苑	—	1	0	0	1		
小規模多機能型 居宅介護事業	原町小規模多機能居宅介護センター	25	5	2	8	15		
小計(介護在宅)			129	36	14	60	110	
公益事業	フジホーム診療所	—	0	0	0	0		
	介護職員初任者研修事業	—	0	0	0	0		
高齢者施設計			879	255	67	179	501	

グループ名	種別	施設名		定員 (世帯)	職員数								
					正規職員	契約	非常勤	合計					
障害者支援施設	障害者支援施設(入所)	さやま園(居住)	施設入所支援	96	100	57 (GH5)	13	44	114				
	障害福祉サービス(通所)	さやま園	生活介護	(96)									
			短期入所	4									
		小茂根福祉園	生活介護	40	70	34	3	2	39				
			就労継続支援B	30									
		立川福祉作業所	生活介護	30	75	12	3	18	33				
			就労継続支援B	35									
			就労移行支援	10									
		東村山生活実習所	生活介護	30	40	13	8	9	30				
			就労継続支援B	10									
				短期入所	2								
	心身障害者福祉ホーム	さくらんぼ			-	15	1	7	23				
	身体障害者福祉センター	さいわい福祉センター			-	22	0	21	43				
	共同生活援助事業 (知的障害者グループホーム)		アミニティ富士見		6	-	(1)	-	-				
			グリーンハイツ		6	-	(1)	-	-				
			フレンズ・モエ		5	-	(1)	-	-				
			バル		6	-	(1)	-	-				
			それいゆ小川		7	-	(2)	-	-				
			ファーム竹丘1		6	-	(2)	-	-				
			ファーム竹丘2		7	-	(1)	-	-				
			レヂオンス巣鴨		4	-	(1)	-	-				
			はなみずき		4	-	(1)	-	-				
			ユーカリ		4	-	(1)	-	-				
夢オハナ				6	-	(1)	-	-					
結オハナ				6	-	(1)	-	-					
特定相談支援事業	さやま園			-	2(兼務)	0	0	0					
	さくらんぼ			-	2(兼務)	0	0	0					
障害者施設計				354	153	28	101	282					
児童・女性支援施設	母子生活支援施設	サンライズ武蔵野		20	7	5	3	15					
		緊急一時保護		1									
		サンライズ青山		20	7	1	4	12					
		港区緊急一時保護		1									
		サンライズ万世		20	8	3	4	15					
	緊急一時保護		2										
	児童養護施設	双葉園			38	28	6	6	40				
			地域小規模「高鳴の家」		6					4	0	0	4
			地域小規模「くすのき」		6					4	0	0	4
			昭島市子どもトワイライトステイ事業		2								0
	婦人保護施設	いこいの家			40	9	3	4	16				
児童厚生施設	昭島市児童センターぱれっと			-	3	0	7	10					
児童・女性施設計				156	70	18	28	116					
施設合計				2,441	703	129	457	1,289					
医療	病院	昭島病院		199	193		138	331					
	訪問看護	昭島病院訪問看護ステーション		-	4		2	6					
収益	印刷	事業局		-	13	3		16					
	不動産賃貸			-	-	-	-	-					
	駐車場	病院駐車場		-	-	-	-	-					
合計				2,640	913	132	597	1,642					

備考：1 共同生活援助事業の職員数は委託事業のため職員数には含まない。()内の職員数は、委託職員数。
 なお、計画作成担当者はバックアップ施設の職員が兼務する。

Ⅱ 事業経営

1 保育支援系施設の経営

認可保育所を経営します。

1 グループ方針

未来に安心とやすらぎのある福祉社会を、すべての人々と共につくるという課題に向き合っていきます。
人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創りだしていきます。

2 グループ目標

- 1 子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開し、子どもの生きる力を育てます。
- 2 地域社会の子育て支援の拠点として、さまざまな機関、組織との連携・協働を通して保育所の役割を果たします。
- 3 積み上げた保育のノウハウを活かし、保護者の育児力向上に向けて子育てに関する情報の提供に努めるとともに、保護者の就労を積極的に支援し、多様なニーズに応える取り組みを展開します。
- 4 職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供できる人材の育成および研修の充実を図ります。
- 5 保育園の安全対策の徹底を図り、利用者の安心を確保します。また、防災・減災・BCPの充実に向け、災害訓練を行います。
- 6 昨年度より開始された「子ども・子育て支援新制度」について、適切に対応をします。
- 7 新保育園開設に伴いグループ内の連携を強化し、安定した運営ができるように取り組みます。

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 むさしの保育園

定員 169 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重し、専門知識を活かした保育を展開し、子どもの生きる力を育てます。
- 2 地域子育て支援の拠点として、地域の様々な組織との連携・協働を図りながら、保育所としての役割を果たします。
- 3 職員育成計画に基づき、職員の資質向上、様々なサービスに応える専門性、スキルアップに向け、研修を充実させます。
- 4 利用者にとって、安心安全な園生活が送れるよう、安全対策の徹底を図り、BCP、防犯の充実に向け、訓練を行います。
- 5 「子ども・子育て支援新制度」について、適切な対応をします。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
100.0%	104.3%	108.1%	108.0%

【重点支援目標】

- 1 一人ひとりの子どもの個性や発達を大事にし、子どもが安心感と信頼感をもって、自発的・意欲的に活動できるよう、子どもの生きる力を育てる援助をします。
- 2 遊びの中での育ちあいを大切に見守りながら、子ども相互の関係づくりや社会性を育む保育に努め、豊かな心と社会性、道徳性のある子どもを育てます。
- 3 子ども達が日々感動したり、驚きや発見に出会えるよう保育環境を整え、保育内容の充実を図ります。
- 4 子ども達の気持ちを大切にし、情緒の安定に努めた保育を行っていきます。また、保育の専門性を活かし、相談・助言などの保護者対応をしていきます。
- 5 地域のニーズに合わせた一時保育や育児支援を行うとともに、育児講座、保育所体験を継続し、地域の子育て支援の拠点になるよう努めていきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
2階むさし 分園 コンベクション	1,500 700	ランチルーム机 ロッククライミング	1,182 1,300	のぼり棒 園庭ゴムチップ工事 保育支援システム サーバ更新	740 5,000 1,721		
購入等合計	2,200	購入等合計	2,482	購入等合計	7,461	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 昭和郷保育園

定員 100名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重し、専門的知識を活かした質の高い保育を展開します。
- 2 地域社会の子育て家庭のために、保育所がもつ専門性を十分発揮して、育児講座や相談、体験保育等で子育て支援に努めます。
- 3 昨年度より開始された「子ども・子育て支援新制度」について、適切な対応をします。
- 4 職員一人ひとりの能力向上のための研修等の充実を図り多様なサービスと質の高い保育が出来るよう職員を育成します。
- 5 日々安全な環境を整えるとともに、自然災害、緊急時に備えた対応ができるようにBCPの見直しと充実に向け、災害訓練を行います。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
115.2%	115.7%	115.9%	115.9%

【重点支援目標】

- 1 生活や遊びの中でのさまざまな体験を通して、豊かな感性を育み子どもの生きる力を育てます。
- 2 家庭的な雰囲気の中で一人ひとりの成長発達を捉えながら、健康で情緒が安定した生活ができるように援助していきます。
- 3 縦割り保育の中で個々の意思を尊重し、満足できる経験を重ねて自信を持ち、他児と関わる中でやさしさや思いやりの気持ちが育つよう援助します。
- 4 全身を使って遊ぶことを経験し、健康な身体づくり、運動能力の向上を目指します。
- 5 子どもが自分で考え創造して判断できるよう、充実した保育内容と豊かな環境づくりに努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		システムプール	1,550	幼児廊下床塗装 保育支援システム サーバ更新	800 1,721	食器洗浄機	1,390
購入等合計	0	購入等合計	1,550	購入等合計	800	購入等合計	1,390

リース等(物件・年額)	金額
観察用水槽	355
リース等合計	355

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 大山保育園

定員 130名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子ども一人ひとりの人権や主体性を大切に、様々な経験をとおして子どもの生きる力を育てます。
- 2 環境の変化による家庭・地域における養育力の低下を保育所を拠点として、子育て支援に努めます。
- 3 職員育成計画によるチューター制度の充実・研修による専門性スキルアップ等人材育成に努めます。
- 4 苦情解決・第三者評価の声を反映させサービスの向上に努めます。安全対策の徹底を図り安心を確保します。
- 5 昨年度から施工された「子ども・子育て支援新制度」について適切な対応ができるように情報を職員で共有します。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
102.6%	101.4%	99.9%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 「たくましく生きる力を育てる」を目標に子どもが安全に過ごせる保育環境を整え一人ひとりの人権に配慮し成長発達に合わせた援助をします。
- 2 地域社会のなかでもだちや職員・地域の人とのかかわりの中で「こころの育ち・豊かな心」が育つよう努めます。
- 3 子どもが自主性をもち主体的に行動できるよう保育の充実に努めます。また、子どもの体力向上向け継続して取り組みます。
- 4 研修計画に基づき職員の育成・質の向上を図り保護者への支援の努めます。
- 5 保育園の安全対策の徹底を図り園児が安心して過ごせるようにします。また、防災・減災・BCPの充実に向け、災害訓練を継続し行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				保育支援システム サーバ更新	1,721		
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	1,721	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
印刷機	20
リース等合計	20

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 昭和郷第二保育園

定員 190名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 児童福祉法、子ども・子育て支援法に基づき、本園を利用する乳児及び幼児が心身ともに健やかに育成されるよう保育及び教育の提供を行います。
- 2 本園に蓄積された専門知識や能力を活かし、地域関係機関と連携して園児の保育の充実と保護者、地域の子育て支援を行います。
- 3 必要に応じ保育定員の弾力化による待機児解消、一時保育の受け入れや広場事業等の育児支援を行い、地域貢献に努めます。
- 4 園児が健やかに成長する為に必要な環境を確保し、防災・減災・BCPの充実に向け災害訓練を行い、園児、保護者、職員が安心して利用できるよう努めます。
- 5 園児の人権擁護、虐待防止、多様なサービスと質の高い保育を提供できるよう、人材の確保並びに人材育成の充実にも努めます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
101.8%	106.5%	104.8%	106.3%

【重点支援目標】

- 1 本園は、園児の意思及び人格を尊重し、園児の立場に立って保育を提供し、生きる力を育てます。
- 2 上質な経験や体験、文化の伝承から生きる力の基礎を、同年齢児や異年齢児との関わりの中から社会性を育み、健康で逞しい子どもの育成を目指します。
- 3 保育士等の適切な言葉かけや対応により、子どもの自己内対話能力を育て、第二の自我形成から、自分で判断できる子どもの育成に努めます。
- 4 安全で衛生的な環境を用意し、本園に蓄積された教育・保健・栄養等のノウハウを活かし、子ども達が安心して過ごせるようにします。
- 5 園庭開放やちびっこ広場、一時保育を通して、地域の育児ニーズを把握し、育児支援を行うとともに地域の育児支援の拠点となるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
北園舎テラス設置工事	2,500	園舎内壁塗装	800	舞台購入 保育支援システム サーバ更新	800 1,721	駐輪場屋根設置工事	700
購入等合計	2,500	購入等合計	800	購入等合計	2,521	購入等合計	700

リース等(物件・年額)	金額
水槽	366
リース等合計	366

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 みなと保育園

定員 70 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子育て支援の拠点として、保育園の役割や機能を十分に発揮し、地域に根ざした保育園の運営に努めます。
- 2 知識・技能の専門性を高めるため、内外の研修に積極的に参加すると共に、業務の適切な実践を図り、より良い支援や援助ができるよう努めます。
- 3 安全対策の徹底を図ると共に、第三者評価、苦情相談等の声を反映した事業や保育ができるように努めます。(耐震工事中の安全確保を徹底する)
- 4 新制度にそった運営ができるよう、勉強会や区の説明会等に積極的に参加していきます。
- 5 一人ひとりの特性を活かした人材育成に取り組み、職員の定着を図ります。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
103.4%	100.8%	103.2%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、保小の連携を図り、「就学前カリキュラム」を基にした保育に努めます。
- 2 一人ひとりが創造的、自主的な活動が展開できる環境づくりをします。また、継続した育ちができるよう保育の連携を強化し、「生きる力」を育てます。
- 3 家庭や地域との連携を図り、養護と教育が一体となった保育を展開し、より豊かな人間性を持った「こころ」を育てます。
- 4 避難訓練(火事・地震・BCP)はもちろんのこと、災害時の役割分担の確認、マニュアルの見直し等に取り組み、職員に周知徹底し、緊急時の適切な対応に備えます。
- 5 職員の資質向上を図り、多様なサービスができるように努め、保育の質を高めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
1歳児室手洗いシンク取替工事	999			0.1歳児仕切り家具	1,500		
大人用トイレ改修工事	1,609			保育支援システム	1,721		
給食室トイレ洋式改修工事	1,092			サーバ更新			
耐震工事	⇒⇒		⇒⇒		43,625		
購入等合計	3,700	購入等合計	0	購入等合計	46,846	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 同援みどり保育園

定員 125名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権を尊重し、一人ひとりの成長発達に対応した適切な養護と教育を行います。
- 2 子ども達が安心して園生活ができる、安全で清潔な環境作りに努めます。
- 3 保護者や地域の子育て世代の方が必要としているニーズや意向を的確に捉え、就労支援や子育て支援を行います。
- 4 「保育の質の向上」を目指し、職員一人ひとりが園内外の研修に積極的に参加して意識や能力を深めます。
- 5 昨年より開始された「子ども・子育て支援新制度」について、適切な対応ができるようにします。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
104.3%	103.8%	104.0%	104.0%

【重点支援目標】

- 1 子どもたち一人ひとりの成長発達に合わせて、「生きる力・こころの育ち」を育む保育を実践します。
- 2 集団だからこそできる経験や多くの人々との交流の中で、子どもの主体的な活動や相互間の関わりを大切にして自我や社会性を育みます。
- 3 子ども達が生活する環境を整え、安心して過ごせる生活の場を提供します。また、防災・減災・BCPの充実に向け災害訓練を行います。
- 4 保護者と連携をとり相互理解に努めながら、子育ての喜びを感じられるように育児支援に努めます。
- 5 地域社会の子育て拠点として、保育園の持つ機能を十分に発揮したサービスの充実に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
園庭門扉取り付け	700	4・5歳保育室ロッカー取替え	1,800	3歳児保育室床暖房工事	3,200	屋上防水・外壁塗装工事	29,000
		電話機取替工事	1,400	保育支援システムサーバ更新	1,721		
購入等合計	700	購入等合計	3,200	購入等合計	4,921	購入等合計	29,000

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 利用者の権利を尊重しながら、本園に蓄積された専門的知識技能を活かし、保育所の役割を果たします。
- 2 子育て家庭支援のニーズが多様化していく中で、様々な機関や組織と連携し、それぞれの家庭に合った支援の充実に努めます。
- 3 職員育成計画に基づき職員の質の向上、多様なサービスを提供出来る人材の育成・研修の充実に努めます。
- 4 防災、減災、BCPの充実にに向けた災害訓練を行い、保育園の安全対策を徹底し、安心安全を確保に努めます。
- 5 昨年度より開始された「子ども・子育て支援新制度」に合わせ、幼児期の学校教育、保育の総合的な提供や、子育て支援の充実に目指し、円滑な運営に努めます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
120.3%	119.6%	123.6%	119.9%

【重点支援目標】

- 1 子ども一人ひとりの発達段階や精神面・家庭環境を把握し、職員が研修を通して学びながらそれぞれに合った関わりや対応をし、よりよい子育て支援につなげます。
- 2 様々な実体験(命の大切さ、食育等)を通して、五感を育み、子どもの生きる力、感謝の気持ち、愛情を育てます。
- 3 生活や遊びの中で表現活動を楽しみながら基礎能力を身につけ、豊かな感性を育み、楽しく身体を動かし、健康な身体作りを目指す等、就学を見据えた関わりに努めます。
- 4 縦割り保育や地域世代間交流を通して、子どもたちが共に生活し、互いに関わりながら優しさや思いやりの気持ちが育つように支援します。
- 5 子どもの発達に合わせた環境づくりに努めるとともに、安心安全の中で子どもたちが十分に遊び込んで満足する環境づくりを目指します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
園庭セーフティベース施工	1,400	生ごみ処理機	1,600	0.1歳児保育室修 保育支援システム サーバ更新	15,000 1,721	変圧器機器更新工事	2,440
購入等合計	1,400	購入等合計	1,600	購入等合計	16,721	購入等合計	2,440

リース等(物件・年額)	金額
水槽	360
AED	85
リース等合計	445

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 同援さくら保育園

定員 108名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 子どもの人権や主体性を尊重した質の高い保育を展開し、一人ひとりの成長発達に合わせた養護と教育を行います。
- 2 子育てで家庭支援のニーズが多様化する中で様々な保育事業を通し、関係機関等と連携を図り、それぞれの家庭にあった支援の充実に努めます。
- 3 地域の子育ての拠点として園に求められているニーズに対し、今まで積み重ねてきた専門知識・技能を十分に発揮し、育児力向上に向けた情報提供に努めます。
- 4 職員一人ひとりのスキルアップに向け研修等の充実に努め、多様なサービス、質の高い保育の提供が出来る人材を目指します。
- 5 昨年度から実施の新制度において状況の変化に合わせて、区と連携を取りながら適切な対応をします。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
112.0%	112.9%	111.0%	111.0%

【重点支援目標】

- 1 社会環境や家庭環境を十分考慮し、子ども一人ひとりの成長発達に合わせ、子どもの生きる力、たくましい心と体づくりを進めていきます。
- 2 保護者の一日保育士体験や様々な保育事業を通して、子育ての喜びを感じられるよう子育て支援に努めます。
- 3 子どもの気持ちを大切に、子どもが安心感・信頼感を持って色々な人と関わる中で豊かな心が育つよう援助します。
- 4 集団だからこそ出来る活動や様々な遊びを通し、子ども一人ひとりの豊かな経験や自信につなげます。
- 5 子どもたちが安心安全に園生活を送られるよう、環境づくりに努めます。また、防災・減災・BCP(事業継続計画)の充実に向け、様々な場面を想定した訓練を行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
食器洗浄機	1,070	駐輪場カーポート	800	テラスウッドデッキ研	1,550	防犯カメラ	550
		乳児保育室テラス	1,500	磨塗装補修		(玄関、園庭)	
		側扉取替え		保育支援システム	1,721	塀補修	1,500
				サーバ更新			
購入等合計	1,070	購入等合計	2,300	購入等合計	3,271	購入等合計	2,050

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(保育所)

施設名 同援はいじま保育園

定員 50名

【地域における施設ミッション】

人や自然を愛し、愛情豊かに子どもを育て、夢を育み、地域社会の人々と希望ある未来を創る

【重点運営目標】

- 1 新設園として、積極的に保護者及び地域と信頼関係を構築していくよう努めます。
- 2 新園舎では日々安全な環境を整えると共に、自然災害、緊急時に備えた対応が出来るようBCP(事業継続計画)を作成し、災害訓練をおこないます。
- 3 子どもの人権や主体性を尊重し、専門的知識を活かした質の高い保育を展開します。
- 4 職員育成計画に基づき、職員の質の向上、様々なサービスに応える専門性、スキルアップに向け、研修を充実させていきます。
- 5 市内の待機児童の減少に寄与し、定員を満たせるように努めていきます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
/	/	/	100.0%

【重点支援目標】

- 1 家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの成長発達を促しながら、健康で情緒が安定した生活が出来るように援助していきます。
- 2 子どもが様々な経験を通し、自分で考え創造して判断出来るよう、充実した保育内容と豊かな環境作りに努めます。
- 3 全身を使って遊ぶことを経験し、健康な体づくり、運動機能の向上を目指します。
- 4 縦割り保育で関わりを持つ中で、個々の意見を尊重し、やさしさや思いやりの気持ちや育つよう援助します。
- 5 一時保育や育児支援等の地域のニーズに対応していきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

2 高齢者支援系施設の経営

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、救護施設、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンター、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、並びに地域包括支援センター等を経営します。

1 グループ方針

地域包括ケアシステムの構築の更なる推進に向け、地域に根差した拠点施設として地域の方々や利用者、家族に安心と安全を提供できる体制を創ります。また、様々なニーズに対応できる利用者本位のサービスを広げていけるよう、専門性を育て質の高いサービスの構築に努めます。

2 グループ目標

- 1 利用者の人権に配慮しながら、その有する能力に応じ自己決定に基づく自立した日常生活を営むことができるように介護・支援します。
- 2 自治体と協力しながら、介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう介護・医療と一体となってサービスを提供するとともに、地域の実態に合わせた多様な日常生活支援総合事業サービスを提供するなど、開かれた施設を目指します。
- 3 介護のやりがい・魅力を内外に発信し、新規職員を確保するなどの人材確保対策を強化するとともに、研修の機会の確保などにより現職員の人材育成を続け「介護職員の離職防止」を目指します。
- 4 利用者の安心・安全を守るためにも、防災マニュアル、災害時におけるBCP(事業継続計画)は随時見直しを行っていきます。
- 5 グループ全体で業務改善に多角的に取り組み、安心安全の運営及び健全経営を目指します。
- 6 昭和郷高齢者複合施設(仮称)の開設に向けて、サービス提供のための必要な研修をはじめグループ全体で総合的に取り組んでいきます。

1 養護老人ホーム

65歳以上であって、心身上もしくは精神上または環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護します。

2 軽費老人ホーム

60歳以上で生活費に充てることのできる収入が定められた基準以下で、身寄りのない、あるいは家庭の事情によって家族との同居が困難な方を利用契約により無料又は低額な料金で、日常生活上必要な便宜を供与します。なお、ライトホームは、自炊のできる程度の健康状態にある方が利用されます。

3 救護施設

身体や精神に障害があり、経済的理由も含めて日常生活をおくるのが困難な人たちが、健康に安心して生活できるよう、生活扶助を行います。

4 特別養護老人ホーム

65歳以上であって、常時介護を必要とされ、居宅においてこれを受けることが困難であり、介護保険法の規定による介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給に係る方等を養護します。

5 認知症対応型共同生活介護

65歳以上で、認知症であるために日常生活を営むのに支障がある方に対して、共同生活する住居で入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の援助を行います。

6 老人デイサービスセンター

65歳以上であって、日常生活を営むのに支障がある方に、通所により入浴・食事の提供・機能訓練等各種のサービスを提供し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上並びにご家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ります。

7 地域包括支援センター

高齢者の方が住みなれた地域で安心して暮らせるように、介護、福祉、健康、医療など様々な面から総合的な支援を行います。

8 居宅介護支援事業所

居宅において介護保険で受けられる指定居宅サービスや特例居宅介護サービスなどの紹介、いろいろなサービスの調整、居宅支援サービス費にかかる費用の計算や請求などを要介護者の代わりに行う事業所です。介護支援専門員(ケアマネージャー)が、介護支援計画(ケアプラン)を作成したり、その他の介護に関する専門的な相談に応じます。

9 小規模多機能型居宅介護事業

地域密着型サービスのひとつで、事業所に登録している利用者に対して、通い・訪問・泊まりのサービスを柔軟に一体的に提供し、介護の効果の高いサービスを提供します。

平成28年度 事業計画(養護老人ホーム)

施設名 万世敬老園

定員 200 名

【地域における施設ミッション】

養護を必要とする高齢者の自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 高齢者の養護ニーズの事例の研究活動を通して、これからの養護の展開に組みます。
- 2 生活困窮者等を積極的に入所受け入れをし、稼働を充実します。
- 3 施設の老朽化に対して、適切な保全で快適な環境をつくり、改築等を視野に財源の適正化を図ります。
- 4 職員自身が自己研鑽できるような人材育成を行い、組織力へとつなげていきます。
- 5 コンプライアンス運営に基づいた、適切な事業運営に取り組みます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
100.5%	99.3%	96.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者主体の自由を尊重し、それぞれの意思に応じた自主、自立を支援します。
- 2 措置理由の改善、解消に向け、養護版ケアプランを基にケースワークに組みます。
- 3 ボランティア活用を推進し、心身の健康の維持向上、介護予防を生活の中で実践していきます。
- 4 様々な活動を職員とともにを行い、豊かな生活感をつくり、健康生活や地域での活躍につながるよう支援します。
- 5 行動規範に基づいた、適切な支援に取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
トイレ等水廻り故障工事	1,200	エアコン取替工事	1,050	居室床張替工事10室	1,600	エアコン取替工事	1,050
トイレ段差改修工事	2,300	食堂厨房機器修繕	540				
購入等合計	3,500	購入等合計	1,590	購入等合計	1,600	購入等合計	1,050

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	3,600
居室防災カーテン	520
リース等合計	4,120

平成28年度 事業計画(軽費老人ホーム)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

地域に根差した拠点作りをめざし、地域と共にある中での自立支援に繋がる様支援して行きます。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
100.0%	100.0%	99.9%	100.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
		浴室張替工事	1,100	冷温水発生機工事	32,000	館内LED工事	900
購入等合計	0	購入等合計	1,100	購入等合計	32,000	購入等合計	900

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(軽費老人ホーム)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

地域の住宅事情や生活支援事情で、より良い生活を求められる高齢者の期待に応えられる新しい施設を築いていきます。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
67.8%	72.7%	58.0%	40.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(救護施設)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
100.1%	99.0%	98.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
電話交換機	3,700	廊下手摺取り付け	7,120	2階和室改修	3,559		
PHS電話機アンテナ	814	トイレ改修工事	4,393	屋外手摺ケレン工事	1,920		
購入等合計	4,514	購入等合計	11,513	購入等合計	5,479	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	2,300
リース等合計	2,300

平成28年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

地域包括ケアシステムの中で、地域の方に安心・安全を提供できる拠点施設を目指します。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
94.2%	94.9%	94.8%	98.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
照明器具LED交換	13,000	サーバー交換	1,000	離床センサー購入	750	スチームコンベクション購入	1,800
		見守り支援ベッド購入	3,000				
購入等合計	13,000	購入等合計	4,000	購入等合計	750	購入等合計	1,800

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	2,300
リース等合計	2,300

平成28年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

地域の住民が老後も安心・安全に暮らし続けられるように、専門的ケアを積極的に地域に還元するとともに地域の拠点施設を目指す。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
95.5%	93.4%	95.0%	98.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
LED工事	5,670	サーバー ナノミストバスベッドタイプ	1,200 3,100	屋上雨漏り改修	18,500		
購入等合計	5,670	購入等合計	4,300	購入等合計	18,500	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	2,640
カーテンリース	564
リース等合計	3,204

平成28年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

各種事業を備えた地域の拠点として、また認知症カフェを充実させ、住民が安心して暮らせる街づくりに貢献する。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
99.9%	99.1%	99.0%	99.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				ナノミストバスベッドタイプ	2,190	送迎用車両	4,500
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	2,190	購入等合計	4,500

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

地域の方々が気軽に立ち寄れる施設を目指すとともに、セーフティーネットとしての役割を果たします。またICT(情報通信技術)を活用し情報の共有化をすすめます。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
97.1%	96.6%	97.5%	99.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
1・2階LED電気工事	1,500	見守り型ベッド	3,000	誘導灯バッテリー	1,400	LED電気工事	1,000
購入等合計	1,500	購入等合計	3,000	購入等合計	1,400	購入等合計	1,000

リース等(物件・年額)	金額
寝具リース	1,058
リース等合計	1,058

平成28年度 事業計画(特別養護老人ホーム)

施設名

定員 名 短期入所 専用 名
空床利用 名

【地域における施設ミッション】

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
98.4%	99.4%	98.5%	99.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
製氷機	473	電動ベット(4台)	1,200	冷却塔更新	12,000		
シュレッダー	240						
購入等合計	713	購入等合計	1,200	購入等合計	12,000	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(認知症対応型共同生活介護)

施設名

定員 名

【地域における施設ミッション】

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
91.7%	90.7%	90.0%	96.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画 (認知症対応型共同生活介護)

施設名 原町グループホーム

定員 18 名

【地域における施設ミッション】

地域の方の「新宿区で暮らしてつづきたい」を地域とともに支えます。新宿区の大切な社会資源として地域から必要とされる事業運営を目指します。

【重点運営目標】

- 1 利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場になったサービスの提供に努めます。
- 2 個別の介護計画を作成することにより、利用者が必要とする適切なサービスを提供します。
- 3 家族、地域住民同士が、ケアを「自分のこと」と捉え「自助・互助」の意識付けを地域密着事業として展開していきます。
- 4 誰もが人として尊重され、ともに支えあう地域社会を目指し、新宿区に暮らす利用者の「普通の暮らし」を実現させます。
- 5 地域の認知症高齢者が安心して利用できる、地域に開かれた「居心地のよいグループホーム」を創造していきます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
87.0%	98.0%	97.0%	97.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者の普通の生活スタイルを大切に、私達の存在が利用者の普通の暮らしに溶け込むようなグループホーム作りを目指します。
- 2 利用者が可能な限り、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援を行います。
- 3 利用者の生活の支援を行い、心身機能の維持を図ります。
- 4 認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境のもとで、食事、入浴、排泄などの日常生活のケアを行います。
- 5 BPSD(行動・心理症状)の緩和など、適切な介護技術をもってサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
				見守り支援システム	3,240		
購入等	0	購入等	0	購入等	0	購入等	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 フジ・デイサービスセンター

定員 25名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができるようにニーズに応じたサービスを提供します。

【重点運営目標】

- 1 利用者満足度の向上を目指し、サービス内容の見直しを行なっていきます。
- 2 より質の高いサービスが提供できるよう、職員の育成を図っていきます。
- 3 各居宅介護支援事業所やご家族と連携を図り、きめ細やかなサービスを提供していきます。
- 4 在宅での生活がより快適になるよう、通所介護事業所としての視点で、利用者個々にアプローチしていきます。
- 5 次年度より開始される総合支援事業に対する取り組みを、昭島市と連携しながら模索していきます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
72.1%	67.6%	67.0%	75.0%

【重点支援目標】

- 1 個人が、在宅生活を継続出来るよう、自立支援のサポートをします。
- 2 個々の利用者のニーズに合ったサービスを計画・実行します。
- 3 新しい介護技術の進歩に対応し、常に適切な技術を持って、援助を行ないます。
- 4 ボランティア等を積極的に受け入れ、多種多様なサービスを提供します。
- 5 予防に重点を置いたサービスを提供します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名

定員 名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていくことができるようにニーズに応じたサービスを提供します。

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
72.9%	67.7%	60.0%	70.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 原町デイサービスセンター

定員 12名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域密着型サービスとして地域とつながり、認知症高齢者の在宅生活を支援する。地域へ認知症の理解を図り、安全安心な在宅支援の拠点となる

【重点運営目標】

- 1 地域で暮らす認知症高齢者世帯のニーズを把握し、地域とつながることで、安定した稼働を図ります。
- 2 利用者の権利を守り、法令を遵守し、常に利用者主体のケアを行います。研修等により職員教育を進め、スタッフを育成します。
- 3 利用者本人、家族、他サービス事業者、担当介護支援相談員と連携を取り、本人の生活に対しアセスメントを的確に行い、在宅生活を支える視点でケアに取り組みます。
- 4 ヒヤリハットを検討し、各スタッフと協働して適切なリスクマネジメントを行い、利用者の生活の安全を図ります。
- 5 原町ホーム、居宅介護支援事業所、榎町高齢者総合相談センターや施設内の小規模多機能、グループホームと連携し、認知症ケアをつなぐ社会資源として地域に寄与します。

【施設目標利用率】

平成25年度	平成26年度	平成27年度見込	平成28年度目標
58.0%	59.7%	56.0%	60.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者送迎においては地域特有の環境を考慮し、安全安心な移乗、移動を行います。
- 2 ケアプランに基づき、アセスメントを行い根拠のある認知症ケアを行います。
- 3 利用者個々の心身の状況及び在宅での生活状況の把握に努め、認知症利用者の自律した在宅生活を支援します。
- 4 利用者個々の健康状態を在宅生活も含めて把握するようにし、家族、医療関係者とも連携を図ります。
- 5 認知症利用者のBPSDの軽減を図れるようケアにおいて良い関係性を築き、自律した在宅生活を支援します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(高齢者デイサービスセンター)

施設名 東大和市ふれあいデイセンター

定員 12名(1日あたりの定員)

【地域における施設ミッション】

地域の方々や利用者、家族に信頼される施設として、社会的役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 法人理念と高齢者支援系グループ方針を遵守し、業務を遂行します。
- 2 常に心身ともに健康で、安心して働ける職場環境を作ります。
- 3 地域包括ケアシステムを推進するため、地域の関係機関と連携を強化します。
- 4 BCP(事業継続計画)に基づく施設運営と、利用者が快適で安心して過ごせる環境を整えます。
- 5 経費削減に全員で取り組み、年間稼働率を達成し、安定経営を目指します。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
71.6%	65.1%	73.0%	85.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者の人権を尊重し、礼儀正しく接します。
- 2 「親切」「丁寧」「誠実」をモットーに「個別ケア」に努めます。
- 3 家族、関係機関と連携して、認知症の周辺症状の緩和に努めます。
- 4 常に専門性を追求し、「個別ケア」の推進に努めます。
- 5 地域住民(社会資源)を活用し、在宅生活を支援します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(地域包括支援センター)

施設名 榎町高齢者総合相談センター

【地域における施設ミッション】

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、「高齢者のなんでも相談所」としての役割を果たす

【重点運営目標】

- 1 地域包括ケアの体制を担う、地域の中核的な相談機関としての機能の強化を図ります。
- 2 「高齢者見守り支え合い連絡会」を開催し、高齢者の見守り体制を推進します。
- 3 要支援1、2の方は地域支援事業へ移行となるため、新制度に柔軟な姿勢で対応し、ご利用者への総合支援につなげていきます。
- 4 出張相談・認知症サポーター講座だけでなく、認知症サポーターステップアップ講座等さらに一歩進んだ普及啓発活動を行います。
- 5 介護支援専門員の相談内容の分析や、担当エリア内をさらに小地域化し、地域のニーズの分析を行い、今後さらなる相談対応に活かしていきます。

【施設目標利用者数】

*1日平均利用者数

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
41.0	40.9	40.0	41.0

【重点支援目標】

- 1 高齢者が自分らしく生活を送り、その生活を継続するための支援を行います。
- 2 保健・医療・福祉と地域の連携による包括的なサービスを行います。
- 3 「弁護士相談」の導入等、「権利擁護」の視点に基づいた支援を引き続き行います。
- 4 包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行います。
- 5 9名の相談員で3職種を持ち、(社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等)チームアプローチを展開していきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(地域包括支援センター)

施設名 昭島市中部地域包括支援センターあいぽっく

【地域における施設ミッション】

高齢者が住みなれた地域で生活できるように、「自助・互助・共助・公助」の視点を大切に地域包括ケア実現に向けて事業を展開していきます。

【重点運営目標】

- 1 地域包括ケア体制を担う地域の中心的な相談機関としての機能の強化を図ります。
- 2 昭島市の見守りネットワークの中心的機関としての役割を果たし、医療機関・インフォーマルケア等も含めた地域ネットワーク構築に取り組みます。
- 3 社会福祉士・主任ケアマネジャー・保健師の3職種で緊密な連携をはかりながら、昭島市の他地域包括支援センターとも連携し地域のニーズに対応していきます。
- 4 生活機能の低下を予防し、要介護の状態にならないように自立支援の視点を大切にしながら、介護予防のケアマネジメントを行います。
- 5 市民に向けての情報提供に積極的につとめ、地域包括支援センターの役割が市民に周知され、活用されるよう取り組みます。

【施設目標利用者数】

*1日平均利用者数

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
35.1	41.7	39.6	40.0

【重点支援目標】

- 1 高齢者が、地域で自分らしい生活を安心しておくれるための支援と情報提供をします。
- 2 保健・医療・福祉・地域の連携を推進し、見守りネットワークの実現に取り組みます。
- 3 「権利擁護」の視点に基づき、複合的な生活課題を抱える利用者や家族の支援にも他業種との連携を図りながら取り組みます。
- 4 包括的・継続的なケアマネジメントの支援を行います。地域のケアマネジャーとの連携を深めます。
- 5 社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等の3職種によるチームアプローチを行います。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(小規模多機能型居宅介護事業)

施設名 原町小規模多機能型居宅介護センター

定員 25名

【地域における施設ミッション】

要支援、要介護状態になっても、住み慣れた地域で生活が継続できるよう支援します。地域の認知症高齢者の生活を支える社会資源としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 やさしさを起点とした介護を目指し、利用者の安全・やすらぎ・尊厳を保障します。
- 2 地域に根ざした事業所となり、共に支えあって生きる地域のまちづくりに寄与します。
- 3 小規模多機能型居宅介護事業の機能を活かしたケアマネジメントを充実させ24時間365日安心のケアを提供し、住み慣れた地域で暮らせるよう支援します。
- 4 職員の資質向上を図り、研修体制を充実して認知症利用者の暮らしを支える在宅ケアのプロフェッショナルを育成します。
- 5 地域における他の在宅サービスや医療機関との連携機能を強化していき適正で効果的な事業運営につなげていきます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
41.3%	62.9%	82.0%	88.0%

【重点支援目標】

- 1 パーソンセンタードケアに基づき、利用者の持てる力に着目し、在宅生活の中でのその人らしさを支援していきます。
- 2 利用者の24時間365日の在宅生活を支えるためにニーズにあった通い、泊まり、訪問のサービスを組み合わせてライフサポートプランを構築します。
- 3 家族も支援を必要とする当事者と捉え、家族の在宅マネジメントを図り、利用者の在宅生活を支えるために家族の生活を支えることも考えていきます。
- 4 地域密着事業のゆえんとして利用者、家族、地域住民同志が介護を自分のことと捉え、地域に「自助・互助」の意識付けを働きかけていきます。
- 5 地域包括ケアを実現していくため、地域の認知症の方の生活を支える大切な社会資源としての存在を認めていただく仕組みを構築していきます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

3 障害者支援系施設の経営

障害者支援施設、心身障害者福祉ホーム、身体障害者福祉センター等を経営します。

1 グループ方針

コンプライアンス経営を基本とし、安定した経営基盤の確立をめざします。多様なニーズに応えられる専門性と倫理意識の高い人材の確保と育成をおこないます。また、地域貢献や社会貢献を念頭に、地域に必要とされる社会資源の一つとして、その機能を十分に発揮できるように、各施設と地域との連携をより図っていきます。

2 グループ目標

- 1 利用者一人ひとりの満足度がより高められるように、質の高いサービスを提供します。
- 2 合理的配慮・意思決定支援・差別解消・虐待防止などの理解を深め、人権尊重を支援に反映させます。
- 3 地域で暮らす方々が気軽に相談できる場所として各施設を利用し、また、よろず相談に応じて関係機関への調整機能が発揮できるように、施設機能を高めます。
- 4 グループホームの利用者一人ひとりの暮らし方や価値観を大事にして、人権を尊重した支援を行います。また、利用者の豊かな生活が実現できるように組織的なバックアップの仕組みを充実させていきます。
- 5 事業継続計画(BCP)の見直しや想定訓練を行い、より災害時に即応できる防災対策に取り組めます。また、情報管理については、マイナンバー等の個人情報等の取扱いにおけるリスク管理を徹底します。
- 6 計画的な人材育成を進め、多様な事業運営に対応できる人材の確保に努めます。特に、支援力の向上と福祉従事者としての誇りが持てるような研修の実施や職場風土の醸成に努めます。

1 障害者支援系施設

障害者総合福祉法の多機能型施設として施設入所支援・生活介護(旧法:更生)・就労移行支援・就労継続支援B(旧法:授産)・短期入所事業を行います。

2 心身障害者福祉ホーム

豊島区内の心身障害者で特定の要件を満たす方へ、日常生活における援助等を行い、心身障害者の自立生活を助長します。また、併せて緊急一時保護も行います。

3 身体障害者福祉センター

東久留米市内の居宅で生活している15歳以上の心身障害者の方が、住みなれた地域社会の中で安心して生活が送れるように各種サービスを提供し、心身障害者の自立助長及び介護にあたる家族の福祉向上を図ります。

4 共同生活援助(グループホーム)

地域で共同生活を行うのに支障のない障害者の方を対象に、夜間や休日、共同生活を営む住居において、食事の提供、相談その他日常生活上の援助を提供します。

5 特定相談支援事業

障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援)を行います。自立した生活を支え、障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援します。

平成28年度 事業計画(障害者支援施設)

施設名 さやま園

定員 生活介護 96名
 短期入所 専用 4名
 施設入所支援 96名
 特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

行政や他事業所と連携し、入所や地域移行を促進して知的障害者福祉の中核拠点としての役割を果たします。

【重点運営目標】

- 1 安定した収入、高い倫理観、情熱を持った職員で、安心安全な施設経営を行います。
- 2 平成29年4月に予定されている消費税10%を見越した財務管理、事業計画、予算執行を計画します。
- 3 次代を担う人材の積極的育成と教育システムの構築を行い、各階層が連携して事業を支える仕組みを作ります。
- 4 BCPを主眼に置いた防災への備えと感染症対策の徹底を図ります。
- 5 整備された西棟を利用し、宿泊と食事提供で地域から期待される社会貢献事業を実施します。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
90.4%	91.6%	90.5%	100.0%

【重点支援目標】

- 1 法人駐車場を有効利用し、職員支援による直接運営方式のグループホームを計画実施します。
- 2 リハビリテーションの充実、医学的な嚥下評価によるきめ細かい食事の配慮などに取り組み、利用者が長く健康を保てるような高齢化対策に取り組みます。
- 3 パン製造や喫茶店活動、受注作業、またクラブ活動などの新しい日中活動の充実を図り、生活介護の幅を広げる支援を行います。
- 4 差別解消法の4月施行に伴い、合理的配慮の事例研究などを通して、共生社会の在り方について研修します。
- 5 虐待防止マニュアルの見直しを行い、環境整備、啓発活動を通して、相互牽制と確認を行います。そのための研修も企画します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
1階居室エアコン設置	4,860	居室照明取り換え	2,000	食堂電源工事	2,000	グループホーム建	96,420
キュービクル設備	5,000	工事		足湯セット	1,500	設	
製パン室エアコン設置	850	自家発電装置修理	1,600			製氷機	560
卓上ミキサー	550	真空調	898			冷凍冷	840
支援給付費PCソフト	702						
購入等合計	11,962	購入等合計	4,498	購入等合計	3,500	購入等合計	97,820

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(障害者福祉サービス事業)

施設名 小茂根福祉園

定員	生活介護	40	名(通所)
	就労継続支援B	30	名(通所)
	計	70	名

【地域における施設ミッション】

住み慣れた地域での「私らしい暮らし」を支援します。
地域と協働し住みやすく優しい街づくりに貢献します。

【重点運営目標】

- 1 障害者基本法を遵守し、障害者の虐待防止及び合理的配慮の推進を図ります。また、共生社会の実現に向けて、地域生活サポートを推進します。
- 2 板橋区及び区立福祉園の協働事業として、板橋区内特別養護老人ホームの日常清掃を請負い、就労B型における共同受注の形を構築していきます。
- 3 経費節減及び業務の効率化を図るため、給食の業務委託を検討し、平成29年度からの導入に向けて取り組みます。
- 4 職員が能動的に研修に取りくめる施設研修計画、個別研修計画を立て、人材育成を図ります。
- 5 板橋区の福祉避難所として連携し整備を図るとともに、BCP(事業継続)訓練を積み重ねて、災害に備えていきます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
84.4%	87.9%	85.0%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 5つの区立福祉園と協働し、「特養マイライフ徳丸」の清掃作業に着手し、今後の清掃作業の可能性を引き出していきます。
- 2 文化スポーツ活動を推進します。アート活動だけでなく、利用者の個性を尊重した幅広い自己表現活動を目指して取り組みます。
- 3 自主ブランド「コモネスト」の委託販売による販路拡大と、「フクロウ珈琲」の受注拡大を目指し、工賃アップを図ります。
- 4 個別・集団活動の場において、分かりやすい伝え方を工夫し、一人ひとりの意思決定を大切に支援を行います。
- 5 引きこもりがちな利用者が安心して登園できる居場所作りに取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
流し台改修工事	800	和室改修工事	2,268	照明器具LED化工事	900		
吸収冷温水機整備	1,700			3階空調取替工事	700		
LAN設備取替工事	800						
購入等合計	3,300	購入等合計	2,268	購入等合計	1,600	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
自動車	519
リース等合計	519

平成28年度 事業計画(障害者福祉サービス事業)

施設名 立川福祉作業所

就労移行	10	名(通所)	就労継続支援B	35	名(通所)
定員 生活介護	30	名(通所)	計	40	名

【地域における施設ミッション】

通所施設として事業を運営しながら、社会貢献を含めた地域のコミュニティーの輪を広げるように尽力していきます。

【重点運営目標】

- 1 新築後もスムーズに事業計画に則った施設の運営が行えるように努め、更なるサービスの向上と、利用者の安心・安全の確保を最優先に考えます。
- 2 国連障害者権利条約の批准に伴い、権利擁護に基づき、意思決定支援・合理的配慮や虐待防止の理念の周知徹底に努めます。
- 3 地域の関係機関(立川観光協会・商工会議所・立川南口商店街)と協働して社会貢献や地域振興・まちづくりに取り組みます。
- 4 たちかわ若者サポートステーション・立川市自立支援協議会・施設交流連絡会・柴崎町防災訓練等との連携を深め、地域に根ざした障害者福祉計画の推進に努めます。
- 5 広域・地域の利用者ニーズに対応する為、利用定員や利用日数を弾力運用し、幅広い受け皿を持つ施設を目指します。同時に稼働率の維持・向上により施設経営の安定を目指します。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
86.0%	90.9%	90.0%	95.0%

【重点支援目標】

- 1 利用者一人ひとりの尊厳をまもり、障害特徴・年齢・環境等を考慮しながら利用者の意向を十分に尊重するとともに、心身の健全・安定を目指し、一人ひとりに応じた自立を支援いたします。(余暇支援・作業の充実・家族支援等)
- 2 防災計画を進め、事業継続計画(BCP)について、法人内の各事業所と情報の交換を行い、より実効性の高い計画となるよう取り組むとともに、地域の防災計画にも参加します。
- 3 作業への参加を通じて、仕事にやりがいと責任を持ち、満足感、充実感を感じながら参加できるように支援し、工賃やボーナスの向上と、実績ある就労支援を目指します。
- 4 地域の自立支援センターやハローワーク、東京障害者職業センター等と連携し、企業就労の促進や定着支援に取り組みます。また、就労移行支援の一環として、アセスメント実習の受け入れを開始します。
- 5 新築事業所においても、利用者が混乱なくスムーズな生活が出来、効率的にサービスを利用できるように取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(障害者福祉サービス事業)

施設名 東村山生活実習所

定員	生活介護	30	名(通所)	短期入所 専用	2	名
	就労継続支援B	10	名(通所)			
	計	40	名			

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせて、安心して充実した地域生活がおくれるように、関係機関と連携しながら支援します。

【重点運営目標】

- 1 障害者総合支援法をはじめとした各障害者施策の理解に努め、それらの法令等を遵守し、事業運営を行っていきます。
- 2 事業の安定経営をめざすため、常に収支のバランスをみながら、予算を執行し、3事業を一体的に運営していきます。
- 3 地域の福祉事業所をはじめとする関係機関と交流を図りながら、利用者の生活が地域で豊かなものになるように支援していきます。
- 4 事業継続計画(BCP)を含む消防計画にそいながら訓練等を行い、災害等緊急時により効果的な防災対策が図れるように取り組みます。
- 5 事業に必要な人材に関して、一人ひとり計画をたて育成していき、安定した事業運営、また利用者支援が出来るように取り組みます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
93.4%	96.9%	91.0%	95.5%

【重点支援目標】

- 1 「合理的配慮」「意思決定支援」をはじめとする利用者のもつ権利を守り、各自に適切な方法でサービス提供に努めます。
- 2 障害の重度化、多様化に合わせた支援技術を身につけ、利用者が楽しく、安心して活動等に参加できるように努めていきます。
- 3 利用者のご家族がもつ介護問題や、年齢を重ねていくことでの今後の生活の不安など、解決に向けた支援体制の充実を図ります。
- 4 就労継続支援では商品の質の安定、販売先の確保等行いながら、利用者の工賃の向上を目指していきます。
- 5 サービスの一環として提供している送迎サービス、給食の提供、健康面の管理についてはよりきめ細かいサービスの提供ができるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
送迎車1台	4,346						
購入等合計	4,346	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(心身障害者福祉ホーム)

施設名 さくらんぼ

主な事業	長期自立援護	特定相談支援事業
	短期自立訓練	移動支援事業
	緊急一時保護	地域ほっとサービス事業
	レスパイト	

【地域における施設ミッション】

利用者のニーズに合わせ、24時間、365日サービスを提供し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援します。

【重点運営目標】

- 1 長期自立援護利用者の自己実現に向け、関係機関との連携を強化し、有機的な連動を図ります。
- 2 緊急一時、レスパイト、短期利用者など、多種多様なニーズに対応できる人材育成を図っていきます。
- 3 防災及び災害時の安全対策を実施し、安心且つ快適に生活できるよう居住空間の整備に努めます。
- 4 指定相談支援事業と地域ほっとサービス事業等を連動させることで、サービスの切れ目をなくし、地域の拠点の一つとしての役割を担います。
- 5 豊島区障害者地域支援協議会や虐待対応機関連絡会などに参画し、障がい者の権利擁護と地域福祉の向上に努めます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
74.0%	68.0%	80.0%	80.0%

【重点支援目標】

- 1 ご本人の望む地域生活(グループホーム)の実現に向けて、関係機関との連携・連絡を密にし、見学や体験などを取り入れながら取り組んでいきます。
- 2 セーフティネット、ファミリーサポートとしての役割を十分に発揮し、ご家族が安心して預けられるように、利用者ひとり一人の特性等に配慮した支援を行います。
- 3 環境の美化・衛生、また災害時の対策を強化し、安心且つ居心地の良い生活の場の提供に努めます。
- 4 嘱託医、看護師及び区との連携を図りながら、医療的ケアを必要とする利用者が安全に活用できるよう支援します。
- 5 指定相談支援事業及び地域ほっとサービス事業との連動を図り、地域の狭間にある方などが福祉サービス事業へと繋がるよう取り組みます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(身体障害者福祉センター)

施設名 さいわい福祉センター

主な事業	地域活動支援センター事業	生活介護
	都型ショートステイ事業(宿泊)	就労移行支援事業
	日中一時支援事業	居宅介護事業
	就労支援事業	特定相談支援事業

【地域における施設ミッション】

24時間365日、地域福祉の拠点として必要なサービスを提供し安心して地域で生活できるよう支援します。

【重点運営目標】

- 1 市民や利用者ニーズの把握に努め、地域に必要とされる機能を十分に提供できる事業運営を目指します。
- 2 各事業運営に必要な専門性を備えた人材の育成と確保に努め、持続性の高い支援体制を整えます。
- 3 市の防災対策との連携により、実効性の高い防災対策を講じます。また、個人情報をはじめとするリスク管理を強化します。
- 4 支援を必要とされる方が円滑に福祉サービス利用ができるように、地域のサービスの提供体制の充実に取り組み、連携を強化します。
- 5 地域貢献として、センターの設備備品の充実と市民の利用促進を行います。

【施設目標利用者数】

*1日平均利用者数

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
26.0	29.3	26.6	28.0

【重点支援目標】

- 1 柔軟にサービス利用が可能となる事業形態を検討し、今後の地域活動支援センターのサービス提供のモデルを検討します。
- 2 計画相談事業における関係機関との連携を図り、地域ニーズや課題を共有し社会資源の活用やサービスの創設に繋げるように取り組みます。
- 3 都型ショートステイや日中一時支援において、安心・安全に利用していただけるように、環境整備及び支援力の向上を図ります。
- 4 医療的ケアの必要度の高い通所利用者に対して、体調管理を徹底し、看護師とともに快適な日中活動を支援します。
- 5 職場体験実習先の開拓、就労支援事業との情報共有やネットワークづくり、アセスメント実習の受け入れなどを通じて、障害者の雇用促進を図ります。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
点字ブロック改修	700			車寄せタイル	700		
購入等合計	700	購入等合計	0	購入等合計	700	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
送迎バス	814
リース等合計	814

平成28年度 事業計画(共同生活援助)

知的障害者グループホーム

施設名	定員
アミニティ富士見	6名
グリーンハイツ	6名
フレンズ・モエ	5名
パル	6名
それいゆ小川	7名
ファーム竹丘1	6名
ファーム竹丘2	7名

(上記7か所バックアップ施設 さやま園)

施設名	レチオンス巣鴨	4名
	はなみずき	4名
	ユーカリ	4名

(上記3か所バックアップ施設 さくらんぼ)

施設名	夢オハナ	6名
	結オハナ	6名

(上記2か所バックアップ施設 立川福祉作業所)

【地域における施設ミッション】

一人ひとりの豊かな地域生活を支援します。

【重点運営目標】

- 1 報酬改正等、障害保健福祉施策の動向を踏まえながら、適正且つ安定した事業運営を目指します。
- 2 各グループホーム・バックアップ施設間の連携と共働を図り、組織としての支援基盤の構築を目指します。
- 3 地域生活への移行を促進するため、サテライト型を含めたグループホームの開設を目指します。
- 4 障害者虐待防止法及び関連法に基づき、人権、自己選択など利用者の権利・尊厳を尊重した支援の強化を目指します。
- 5 防災対策マニュアルの見直し、避難訓練の実施などにより、利用者が安全・安心に生活できるよう有事への対策強化を目指します。

【重点支援目標】

- 1 意思決定、合理的配慮による個別支援計画を作成し、利用者の意向を十分に尊重した生活を支援します。
- 2 家庭的な環境や雰囲気づくりを大切に、和やかで楽しく安定した生活が送れるよう支援します。
- 3 高齢化や精神的課題等、複雑多様化するニーズに対し、社会資源の有効活用・新たな活動の創造を図り、豊かな生活が送れるよう支援します。
- 4 関係機関や近隣、地域との関連を深め、利用者の社会参加と自立促進が図られるよう支援します。
- 5 災害時への対策として、防災訓練を計画的に実施し、安全な避難方法を体得するとともに、安心して生活できる環境整備を行います。

4 児童・女性支援系施設の経営

母子生活支援施設、児童養護施設、婦人保護施設、児童厚生施設等を経営します。

1 グループ方針

- ・子どもの健全育成と子ども、女性、親子の自立支援を行います。
- ・職員の資質向上と、業種間の相互理解を深めます。
- ・各業種に共通した専門性の確立を目指します。
- ・法令を遵守し、権利と尊厳を擁護した安全な環境を提供します。
- ・職員のメンタルヘルスキアの充実に努めます。
- ・関係機関との連携をさらに強化し、地域への社会貢献を進めます。

2 グループ目標

- 1 個別のニーズに沿った自立支援計画に基づき利用者一人ひとりの自立を支援します。また、子どもの健康増進と豊かな情操を育み、社会生活を学ぶ場として遊べる場、行事等を提供します。
- 2 職員個人の育成計画に基づき、利用者の要望にも柔軟に対応できるよう職員の人材育成を行います。
- 3 施設機能の特性を活かしつつ、チームケアの向上とともにアタッチメントを中核に据えた支援に取り組みます。また、「記録の取り方マニュアル」に基づいた支援や、「活かす記録」の充実に努めます。
- 4 同援憲章を基本に、法令、諸規則を遵守し、利用者の人権を尊重した誠実かつ公正で適正な施設運営を目指します。また、災害訓練の相互視察等防災、減災に取り組み、危機管理を徹底し、利用者に安全で安心できる環境を提供します。
- 5 職員一人ひとりを尊重し、メンタルヘルスキアの充実に取り組み、心身ともに健康に働くことができる職場環境を充実させます。
- 6 地域及び関係機関との連携、協力関係を深めながら、施設機能や情報を地域に開放します。また、地域に安心して過ごせる場を提供し、遊びや学習を通して、地域の子供たちの健全育成を図り、地域社会に貢献します。

1 母子生活支援施設

18歳未満の子供を養育している母子家庭等の女性が、子どもと一緒に利用できる施設です。利用者の心身と生活を安定するための相談・援助を進めながら、自立を支援します。

2 児童養護施設

乳児を除いて、保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童を養護し、あわせてその自立を支援します。

3 婦人保護施設

売春防止法に基づく未然防止と自立のための支援を必要とする女性を保護し、生活及び就労支援を行います。

4 児童厚生施設

児童福祉法により定められた福祉施設として、児童に健全な遊び場を提供し、健康を推進して豊かな情操を育てるために児童センターを運営します。

平成28年度 事業計画(母子生活支援施設)

施設名

定員 名・世帯 緊急一時保護 名・世帯

【地域における施設ミッション】

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
97.1%	92.0%	88.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(母子生活支援施設)

施設名

定員 名・世帯 緊急一時保護 名・世帯

【地域における施設ミッション】

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
88.6%	64.6%	40.0%	70.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(母子生活支援施設)

施設名

定員 名・世帯 緊急一時保護 名・世帯

【地域における施設ミッション】

【重点運営目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
91.0%	95.8%	96.0%	100.0%

【重点支援目標】

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
AED	500	居室内線機器更新	1,700				
電気メーター機器更新	1,818						
購入等合計	2,318	購入等合計	1,700	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画 (児童養護施設)

施設名	双葉園	定員	38	名		
	高嶋の家(地域小規模)	定員	6	名		
	くすのき(地域小規模)	定員	6	名	計	50
	昭島市子どもトワイライトステイ事業	定員	2	名		

【地域における施設ミッション】

子どもの人権を守り、自立を支援します。

【重点運営目標】

- 施設設備の維持管理、人材確保等、適切な予算執行、円滑な事業活動に努め、健全で透明性のある施設運営を目指します。
- 「要保護児童対策地域協議会」へ積極的に連携を深め、地域社会の児童福祉推進の拠点の役割、また、社会貢献にも積極的に関与に努めます。
- トワイライトステイ事業を通じて、地域の子育てを支援し、地域福祉サービスを充実していきます。
- 平成26年度より専門機能強化事業を実施。多様化する子どもの課題に対して、多職種連携により支援向上と環境設備をさらに図ります。
- 家庭的養護の推進のため、里親支援専門員の導入及び法人型ファミリーホームの検討員会を設置し検討を始めます。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
97.5%	96.3%	99.6%	100.0%

【重点支援目標】

- 「子どもの最善の利益のために」相互尊重を基軸にチームケアを推進します。
- 自立支援コーディネーターを中核として、一人ひとりに合った自立支援計画を作成し、一貫性のある支援とアフターケアを実施します。
- 愛着形成を普遍的な課題と捉え、人間関係の再構築を図ります。
- 専門機関等の社会資源を活用し、予想される問題性を早期に発見し、適切な対応を図ります。
- 子どもが安全で安心した生活が送れるよう環境を整え、権利擁護の保障と安全意識をもった支援を行います。

【施設・設備整備計画】

(単位：千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
3階洗面台改装工事	1,336	食器消毒保管庫	701	GH自動火災報知機設置	1,372		
子供用インターネット回線導入	576						
購入等合計	1,912	購入等合計	701	購入等合計	1,372	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(婦人保護施設)

施設名 いこいの家

定員 40名・世帯

【地域における施設ミッション】

女性の人権を守り、その自立を支援します。

【重点運営目標】

- 1 売春防止法、DV防止法及び人身取引対策行動計画に基づき、女性の人権を守り、危機管理を徹底し、安心・安全な環境の提供を行い、自立を支援しま
- 2 利用者満足や組織力を高められるよう、人材の確保ならびに人材育成の充実に努め、職場環境を整えます。
- 3 きめ細かいサービス提供を目指し、第三者評価受審、苦情解決制度等を活用し、利用者の権利擁護及び利用者支援の向上に努めます。
- 4 外壁老朽化への対応、快適に暮らすために居室を整える等施設整備を行います。
- 5 地域の中の施設として、施設の特性を踏まえた上で、施設機能を活用して地域社会に貢献します。

【施設目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
52.9%	22.3%	32.0%	50.0%

【重点支援目標】

- 1 チームケア体制の充実。情報の共有、報告・連絡・相談の徹底を図ります。
- 2 生活支援の充実。自立へのステップ、基本的な生活習慣や生活技術の獲得ができるよう、一人ひとりの状況に合わせて支援を行います。
- 3 健康支援。規則正しい生活を通して、心身の健康を保ちます。女性として心と体の理解を深め、自分自身を守る力を養えるように支援を行います。
- 4 本年度より単独厨房となります。利用者のニーズに合った食事を提供し、きめ細かい対応を図ります。
- 5 コンプライアンス経営を基本に支援をします。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
インターホン設備工事	772			屋根ベランダ防水工事・外壁塗装	4,930		
購入等合計	772	購入等合計	0	購入等合計	4,930	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

平成28年度 事業計画(児童厚生施設)

施設名 昭島市児童センターぱれっと

【地域における施設ミッション】

子どもたちが安心して過ごせる場を提供し、遊びや行事を通して健全な児童育成を目指します。

【重点運営目標】

- 1 運営委託事業を円滑に進めるため、市との連携を強化し、安定した事業運営を行います。
- 2 地域の子育て支援施設として、場の提供と育児相談を行います。また、施設機能を最大限に活用した社会貢献事業を推進します。
- 3 職員会議や研修等を充実させ、接遇マナー・コンプライアンスの認識を持ち実行します。
- 4 危機管理対策を常に検討し、非常時に実践できる体制をつくります。
- 5 利用者アンケートの意見を反映し、サービスの改善・向上に努めます。

【施設目標利用者数】

*1日平均利用者数

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
223名	220名	230名	250名

【重点支援目標】

- 1 年齢差のある子どもたちがお互いに協調しながら遊べる場や、親子が一緒に楽しめる場を提供します。
- 2 多くの子どもたちが楽しみながら積極的に参加できる行事を企画します。
- 3 安全に安心した遊びができる環境を整えながら、子どもたちの健全育成に努めます。
- 4 障がいのある子どもも安心して利用できるよう、専門性を高めます。
- 5 子どもたちの安全対策を踏まえた災害時の避難訓練・防災訓練を強化します。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

5 医療事業施設の経営

平成28年度 事業計画(医療事業施設)

施設名 昭島病院

定床 199名

【地域における施設ミッション】

地域の中核病院として、急性期から回復期まで、すべての患者皆様に安全かつ質の高い医療を提供します。

【重点経営目標】

- 1 経営健全化に向け、タイムリーに情報を発信・共有し、全職員が経営に参画できる組織体制の強化を図ります。
- 2 第2次救急医療機関として、救急患者(車)受入態勢を強化し、良質な医療提供体制を維持します。
- 3 医療・介護サービスを強化するため、地域包括ケアシステムの構築を近隣の事業所と共に行います。

【病床目標利用率】

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込み	平成28年度目標
72.3%	69.3%	62.3%	80.4%

【事業計画の基本事項】

- 1 新規患者を確保するため「断らない」医療の提供を目指します。
- 2 省エネチューニングを実施し、経費の削減に努めます。
- 3 患者サービスの向上を目指すと共に職員の教育・意識改革を図ります。
- 4 災害時に備え訓練、患者受入体制を構築します。

【診療運営計画】

- 1 地域包括ケア病床を開設し、安定的な運用を行い適切な患者数の確保を図ります。
- 2 チーム医療の推進・強化を図り、医療サービスの向上に繋がります。
- 3 医療機器を計画的に更新し、患者負担の軽減、より一層正確な診断に努めます。
- 4 全職員が、患者の満足度や安心感を与えられるよう努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4~6月)		第2期(7~9月)		第3期(10~12月)		第4期(1~3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
輸液ポンプ	584	就業管理システム	5,876	内視鏡装置一式	8,000	電動ベッド	12,390
エコー	5,000	デフィブリレータ(除細動器)	2,036	CT断層撮影装置	48,600	器具除染用洗浄機	10,152
		調剤システム新RINKS	7,614			LED	10,000
購入等合計	5,584	購入等合計	15,526	購入等合計	56,600	購入等合計	32,542

リース等(物件・年額)	金額
CT断層撮影装置	862
リース等合計	862

平成28年度 事業計画(医療事業施設)

訪問看護ステーション

病気や障害を持った方が、慣れ親しんだ地域やご家庭で、療養生活を送れるよう看護師等が訪問し、看護ケアを提供します。

施設名 昭島病院訪問看護ステーション

【地域における施設ミッション】

高齢化に伴い利用者・介護者が安心して在宅生活が送れるように訪問看護事業を行います。

【重点経営目標】

- 1 緊急訪問に対応できる体制と安定した経営のため、訪問回数を305回／月を目指します。
- 2 電気自転車の活用などでコストの削減に努めます。
- 3 医療・介護サービスを強化するため、地域包括ケアシステムの構築を近隣の事業所と共に行います。

【目標利用数】 *1日平均訪問回数

平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度見込	平成28年度目標
11回	12回	12回	14回

【事業計画の基本事項】

- 1 研修に積極的に参加し、家族指導への知識および技術の向上に努めます。
- 2 地域交流会への積極的参加と家族会の定期的開催を行います。
- 3 システム更新を行い業務の効率化を図ります。
- 4 入院から在宅、在宅から入院へのスムーズな調整に努めます。

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

6 収益事業の経営

1 オフセット・活版印刷事業

施設名

【重点経営目標】

- 1
- 2

【事業計画の基本事項】

- 1
- 2
- 3
- 4

【施設・設備整備計画】

(単位:千円)

第1期(4～6月)		第2期(7～9月)		第3期(10～12月)		第4期(1～3月)	
物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額	物件名(購入・工事)	金額
中綴じ製本機	3,500						
軽貨物自動車	1,300						
購入等合計	4,800	購入等合計	0	購入等合計	0	購入等合計	0

リース等(物件・年額)	金額
リース等合計	0

2 不動産賃貸に関する事業経営

- 1
- 2
- 3

7 社会貢献事業

1. 事業内容 昭島市社会福祉協議会と連携して市内の生活困窮家庭のこどもの学習支援を行います。

場 所 フジホーム いこいの広場
回 数 月2～3回 日曜日 13時～15時
対象学年 小学4年～中学3年生
定 員 20名
講 師 職員 学生等(ボランティア)
運 営 NPO法人キッズドアと協力して運営にあたります。

2. 事業内容 就労支援を行なっているNPOと連携して、すぐには一般企業等で働くことが難しい方に対して、当法人の福祉事業所が、就労訓練事業所としての役割を果たしていきます。

就労訓練事業所 立川福祉作業所ほか
就労訓練・体験内容 パンの製作・販売、支援員補助など
対象者 働くことに悩みを抱えている15歳～39歳までの若者

8 人材育成事業

事業内容 介護職員初任者研修(通信)

目 的 介護の現場で働き始めて間もない方、またこれから介護の分野に携わろうとする方に向けて、介護の基礎的な知識・技術を習得し、雇用の拡大、介護福祉士を目指す人材の育成を目的としています。

対 象 介護の業務に従事しようとする一般の方及び職員

期 間 平成28年10月～12月

内 容 自宅学習 40時間、面接事業 78時間 (約15日間)

施設実習 12時間 介護実習8時間、同行訪問4時間

定 員 12名

主な会場 原町高齢者複合施設 地域交流室 (新宿区原町3-84)

Ⅲ 職員福利厚生制度並びに職員研修制度

本年度の職員福利厚生事業・職員研修は、下記により実施します。

1 永年勤続者表彰

10年勤続、20年勤続および30年勤続職員の表彰を実施します。

定年退職者表彰

定年退職前勤続10年以上の職員の表彰を実施します。

2 人間ドック検診の実施

40才、50才、60才の職員が人間ドックを受診する際、その費用を助成します。

婦人科検診の実施

35才以上の女性職員（社会保険加入）が婦人科検診を受診する際、その費用を助成します。

3 福利厚生センター事業の利用

社会福祉法人福利厚生センターの福利厚生事業（ソウェルクラブ）に加入し職員の福利厚生の向上を図ります。

4 職員のメンタルヘルスケアへの取り組み

EPA（従業員支援プログラム）に加入し、職員ならびに家族（同居）、退職者・復職者への支援カウンセリング等を行っています。

また、職員のストレスチェックを実施します。

5 事業所内保育施設「あっぷる」の運営 昭島市中神町 1260

定員 14名 保育時間 7時30分～20時30分

夜間保育（月4回）16時～翌10時

原則として、0歳（生後2カ月）から2歳児までの、職員の子供を預かり保育します。

6 法人研修計画

《基礎研修》（5月）：経験年数1～3年の職員を対象

ビジネスコミュニケーション技術の習得、傾聴力、質問力、話すスキルのポイントを学び実践に生かす研修を行います。

《中堅研修》（7月）：経験5年程度の職員を対象

・プロフェッショナルな人材の特徴を理解する

・自己理解を深め、対人関係能力の向上への啓発ポイントを探す
自分に期待される役割を理解し今後の取り組み課題を明確にするアクションプランの作成をします。

《主任・副主任研修》（10月）：主任・副主任及びそれに準ずる者
テーマ「変革リーダーとしてのあり方を理解する」

- ①自職場を取り巻くビジネス環境変化に対し、自己の役割の再認識
- ②変革を実践する～業務改善
- ③リーダーの為すべき人材育成とスキル

《メンタルヘルス研修》

（4月）：平成28年度新規採用職員及び管理職候補者等を対象

（7月）：経験年数2～3年の職員を対象

メンタルヘルスが重要となっている具体的事例に対して、現場の職員がどのように対応していくべきなのかを習得します。職場不適應者への対処の仕方・復帰のポイント、カウンセリングマインドで聴くことなどを研修します。

《ハラスメント研修》（9月）：各リーダー層職員を対象

ハラスメントへの対応が必要となっている事例に即して職員がどのように対応していくべきなのかを習得します。

《課題別研修》

チューター研修（6月）

OJTによる育成計画の策定方法・実際の仕事の指示の仕方・ほめ方・しかり方等具体的な進め方を習得し、実践力を高めます。

プレゼンテーション能力向上研修（6月）

様々な発言の場でのコミュニケーションスキルを学ぶとともに、プレゼンテーションの実践を行います。

人事考課研修（11月）：施設長対象

人事考課の適切な運用を目指し、人事考課者への研修を行います。

リスクマネジメント研修（2月）相談業務担当者等を対象

クレーム対応の基本を学び、新たな事例を分析し研修します。

《幹部候補者研修》（5、9、10月）

平成26年度管理職試験合格者の2年目の研修として、法人内研修2回、外部研修2回及び職務論文を行います。この研修を通じて、施設運営に関する実践的能力を付与し管理職昇任に備えます。

《新任フォローアップ研修》（10月）：今年度採用された新任職員を対象

変革の時代のビジネスパーソンに求められること、半年間の職場生活の振り返り、次のステップへ向けた目標の設定などフォローアップと合わせ研修します。

《新規採用プレ研修》（1月）：今年度新規採用予定者を対象

同援の理念・特色等を学びます。

- 《新任研修》（3月）：新任採用者及びそれに準ずる職員を対象
ビジネスマナーの基本、仕事の進め方、報告・連絡や相談、質の高い仕事をするためのコツについて研修をします。
- 《施設長研修》（11月）：施設長及び管理職等に準ずる者を対象
（予定）職員の休職・退職・復職判断と実務対応について
- 《副施設長研修》（9月）：副施設長及び管理職候補者を対象
リーダーの役割、リーダーに求められること、リーダーコミュニケーションを身につけます。
- 《庶務担当研修》（通年）：法令改正、年末調整等の理解を深めます。
- 《経理担当研修》（通年）：経理事務の理解を深めます。規程、関係通知等に基づく正確な経理事務、業種別の月次、決算の実務研修を行います。
- 《海外派遣研修》：諸外国の先進的な取組を実地で体験し、本法人の福祉サービスの向上に資するため、副主任級以上の職員を対象として海外派遣研修を実施します。
実施期間は9月～10月頃とし、派遣職員は2名程度とします。

《グループ別研修》

グループ別において、通年3～4回ほど各テーマを定め専門的な課題の研修を実施します。また、グループ内だけでなく他業種、他施設での研修を通して、連携を必要とされている異業種の理解を深めると共に職員の視野を広げ資質向上を図る目的で、各グループ間交流の研修会も実施します。

・高齢者支援系

- （7月）スキルアップ介護実践者研修
質の高い人材、質の高い介護を目指して認知症ケア等の介護技術研修を行い、介護職員のスキルアップを図ります。
- （9月）新任職員研修（フレッシュマンフォローアップ研修）
利用者にとって望ましい介護とは何か、現場から説き起こす介護の実務と倫理を学びます
- （10～12月）初任者研修
高齢者支援系職員が講師となり、広く地域の介護人材を養成します。
- （12～2月）施設間交換研修
コア人材育成研修を行います。
- （3月）新任職員フォローアップ研修
半年間の振り返りを行い今後の目標を定めます。

・ 障害者支援系

(6、7、8月) 新任職員研修

基本的な接遇マナーを学び、ビジネスマナー、コミュニケーション技法を習得します。

(6、7月) 管理職候補者交流研修

管理職候補者が所属施設と異なる事業運営を行っている他施設実習を経験し、グループ全体の事業運営の理解につなげます。

(9月) 新任職員研修

グループの施設を見学し各施設の事業を理解し、法人組織の一員としての自覚を養います。

(10月) 中堅職員研修

役割機能やマネジメントスキルを学び、次世代育成につなげます。

(2月) 全体職員研修

専門知識の向上と支援の向上を図ります。

(通年) 施設間人事交流研修

他施設また他法人での研修を通じて、職員の資質向上と人材育成に努めます。特に中堅職員については、今後の基幹職員の育成の機会とします。

・ 保育支援系

(4月) リスクマネジメント

保育園での危機管理について学びます。

(1月) 子ども・子育て支援新制度研修

昨年度からの開始された「子ども・子育て支援新制度」について、保育要領等保育内容が深まる研修を行います。

・ 児童・女性支援系

(7月) 主任・副主任研修 (ストレスマネジメント)

主任・副主任を対象

主任・副主任業務を行う中で、ストレスにどのように対応していくかを学び、ストレスの少ない職場環境を創る役割を果たします。

(9月) 支援力向上研修 (見立てについて)

中堅職員を対象

様々な課題を抱えた利用者に対し、その見立てと具体的な対応について、事例を通して学び、利用者支援に活かします。

(11月) 発達障害研修会

全職員を対象

専門知識を深める研修として、大人と子供の発達障害に関して、正しい知識と対応を身に着けます。

(通年) 記録システム開発プロジェクト (毎月1回)

「記録の取り方マニュアル」の適切な運用をするため、検証と更新を行う。平成29年度の「新支援システム導入」に向けて、3事業種統一及び3業種毎の仕様書(要件定義)、見積書などに基づいた企画提案プロポーザルを年内に実施します。

(通年) グループ内施設間交流研修 (3日間程度)

グループ内の業種の違う施設で研修を行い、連携している3業種の理解を深めるとともに、職員の視野を広げ、自施設へフィードバックします。

(通年) グループ外施設交流研修 (3日間程度)

グループ外の施設で研修を行い、他職種連携のための情報共有等を学ぶことで、職員の視野を広げ、自施設へフィードバックします。

IV 理事会及び評議員会

定款の定めに従い、下記の理事会、評議員会を開催します。

1 理 事 会

平成 28 年 5 月開催	主要議案	前年度事業報告・決算承認、監事監査報告
平成 28 年 6 月開催	主要議案	新制度の定款変更
平成 28 年 10 月開催	主要議案	補正予算
平成 28 年 12 月開催	主要議案	ゆたか苑大規模修繕工事契約方法
平成 29 年 2 月開催	主要議案	施設長等人事、最終補正予算
平成 29 年 3 月開催	主要議案	次年度事業計画・当初予算承認
臨時開催	主要議案	規程改正及び事業運営の必要に応じて開催

2 評 議 員 会

平成 28 年 5 月開催	主要議案	前年度事業報告・決算承認、監事監査報告
平成 28 年 6 月開催	主要議案	新制度の定款変更
平成 28 年 10 月開催	主要議案	補正予算
平成 29 年 2 月開催	主要議案	最終補正予算
平成 29 年 3 月開催	主要議案	次年度事業計画・当初予算承認
臨時開催	主要議案	事業運営の必要に応じて開催

3 理事・監事・評議員

理事長	牧野 洋一			
常務理事	菅原 眞廣			
理事	多久島耕治	橋本 泰子	原山 陽一	森谷 順蔵
	品川 卓正	上原 淳	水谷 貞子	
監事	鈴木 道生	岩井 令雄		
評議員	坂井 利夫	古屋 正義	小山 寿	五十嵐力平
	本山美八郎	田中 幸子	川向 良和	飯山 幸雄
	比留間由真	堀 茂	岡橋 生幸	戸塚 洋子
	田中紀久子	六本木 尚	林 美枝	池田 康子
	牧野 洋一	菅原 眞廣		

V 施設長会及び各種委員会

本法人組織規定に基づき、施設長会および下記の委員会を設け、それぞれの運営要綱の定めにより、理事長の諮問に答え、あるいは理事長へ意見具申することにより、法人事業の適正運営に資するものとします。

1 施設長会

法人事業全般にわたる事項について、情報交換し、意見を述べ事業の実現に向けた協力並びに活動を行い、法人事業推進の中核的役割を果たします。

2 総合企画委員会

法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について調査、審議し、理事長に意見具申します。

3 人事委員会

施設幹部職員の任用・降格、職員の表彰・懲戒、採用、人材育成等人事に関する必要事項について審議します。

4 規程整備委員会

法人の組織・人事・給与及びその他諸制度に関する規程について、検討し整備を行います。

5 研修委員会

施設長、幹部候補職員、中堅職員、事務職員、新任職員等本法人職員の研修に関し、企画・実施に当たります。

6 広報委員会

「同援だより」の発行、法人ホームページの更新等本法人の広報活動に関し、その企画・実施に当たります。

7 人事考課評価委員会

職員人事考課規程に基づき、人事考課に疑義があると判断された場合において、評価が公正かつ的確に行われているかの審査を行います。

8 情報システム委員会

情報システムの適切な運用に関する推進を行います。

9 リスクマネジメント委員会

防災・減災、システムの安全管理の他、施設経営管理上多角的な視点でリスクを特定し、損失の回避、低減を図るため対策を講じ、啓発や対策指針案の策定を行います。

9 その他

上記の他、必要に応じ委員会等を設け、本法人事業の適正運営に資します。

VI 事務局主要業務

理事長、常務理事を補佐し、法人に関わる各種業務の円滑な執行を図ります。

1 組織（平成28年4月1日現在）

理事長—常務理事	企画部	事業計画、予算および決算、財務管理、資金造成、病院を担当
	総務部	諸規程、文書、組織、広報、理事会および評議員会、職員の人事、給与、研修、福利厚生等、事務局を担当
	施設部	施設の事業運営、連絡調整、内部検査、施設整備を担当

2 内部検査

施設・事業所の運営について、経理規程の定めるところを中心とした事業全般にわたる内部検査を行います。

